

3カ月前から、両眼でものを見ると二つに見えます。片目だと正常なのですが、階段を下りる時が不安です。眼科で滑車神経麻痺、上下斜視と診断されメチコバールを服用中です。手術もあると聞きました。治療方法を助言ください。(88歳、男性)

滑車神経麻痺



望月嘉人医師

ものが二つに見える「複視」は、滑車神経麻痺の典型的な症状です。目の周りには六つの筋肉のうち、眼球を内下方に動

内側に寄るのが内斜視、外側にずれるのが外斜視、上下にずれるのが上下斜視、回っているのが回旋斜視です。

相談者は「上下斜視」と診断されていますが、上斜筋の麻痺があるので回旋斜視を合併しています。先天性もありますが、88歳で、3カ月前からの症状な

8割は3カ月から半年ほどで自然軽快します。その間、神経を修復するビタミン剤のメチコバールを内服します。劇的な効果があるわけではないので、医師によっては処方せずに経過観察することがあります。

半年過ぎて改善しなければ、プリズム眼鏡に進みます。視線の向きを変える仕組みを利用して複視を矯正する眼鏡です。ただ、治療できる目のずれの大きさに限界があるほか、回旋斜視の治療もできません。

複視、7〜8割は自然に改善

かすのが上斜筋です。この上斜筋を支配している滑車神経に麻痺が起きる病気で、上斜筋の働きが悪くなると、下を見る時に複視が強くなります。通常、両目は外見上、同じ方向を向いていますが、斜視では左右の目の位置がずれます。

らは後天性と考えられます。滑車神経の血流の悪化での発症が多く、その血流の悪化は糖尿病をはじめ、高血圧などの生活習慣病がリスク要因になります。頭部の外傷や脳梗塞、脳卒中が原因の場合もあります。

血流悪化が原因ならば、7〜8割は3カ月から半年ほどで自然軽快します。その間、神経を修復するビタミン剤のメチコバールを内服します。劇的な効果があるわけではないので、医師によっては処方せずに経過観察することがあります。

半年過ぎて改善しなければ、プリズム眼鏡に進みます。視線の向きを変える仕組みを利用して複視を矯正する眼鏡です。ただ、治療できる目のずれの大きさに限界があるほか、回旋斜視の治療もできません。

斜視の角度が大きい場合は、手術で目の周りの筋肉の位置をずらし、眼球の位置の改善を図ります。局所麻酔での手術が不安な方は、全身麻酔もあります。この手術はできる施設が限られるので、主治医に専門病院を紹介してもらってください。

(兵庫県医師会、望月嘉人 西宮市、兵庫医科大学眼科)

◇次回は1月15日に掲載します。